

怪物のうわさ



クダンの誕生

umor

佐藤健二

「キ:このマークが付してある著作物は、第三者が有する著作物ですので、同著作物の再使用、同著作物の二次的著作物の創作等については、著作権者より直接使用許諾を得る必要があります。」



クダンという怪物のうわさ



■人間の顔をもった牛

■生まれてすぐ死ぬ

■ことばを話す

■予言をするが、
その予言が当たる



流言・うわさの研究



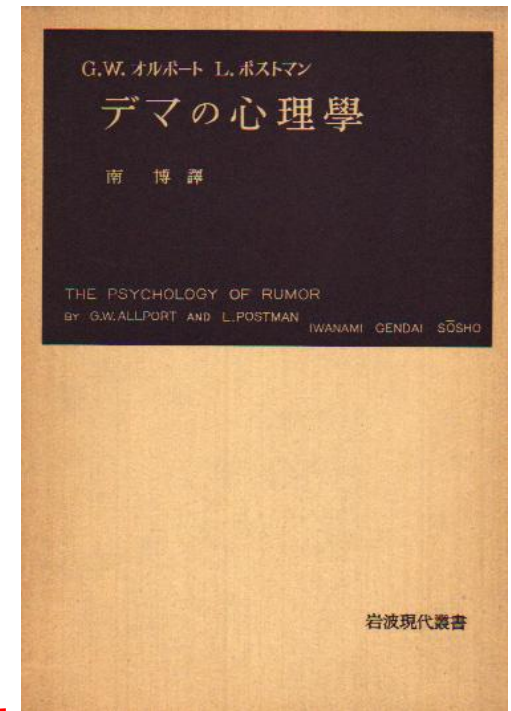
Cantril, H.,
Invasion from Mars, 1940

キャントリル『火星からの侵入』

‡ Hadley Cantril (Author), Albert Cantril (Introduction),
The Invasion from Mars [Paperback],
Transaction Publishers (May 2, 2005)

Allport, G.A., Postman, L.J.,
The Psychology of Rumor, 1947

オルポート&ポストマン『デマの心理学』



‡ G.W.オールポート,L.ポストマン 著,デマの心理学(岩波現代叢書),南博譯訳,岩波書店(1952)



オルポートの古典的公式

$$R \sim i \times a$$

流言量

重要性

曖昧さ



オールポートの古典的公式

▷ R ~ i × a の公式

importance 重要さ

ambiguity 曖昧さ

▷ 伝言ゲームにおける

leveling 平均化

emphasis 強調

assimilation 同化

▷ 偏見による歪み

流言実験に使われた図のひとつ [Allport 1947]



G.W.オールポート, L.ポストマン 著, デマの心理學(岩波現代叢書)1952年, 南博譯訳, 岩波書店, P85 第7図

→ 1940~1950年代における流言研究の基礎を作る



流言はデマ？虚偽？

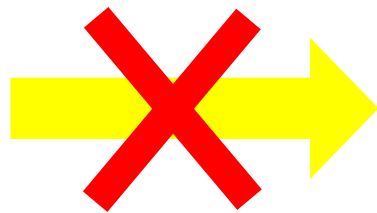
流言

根拠のない風説 〔広辞苑第五版〕
根も葉もない噂を言いふらすこと。

流説。デマ。 〔デジタル大辞源〕

流言蜚語

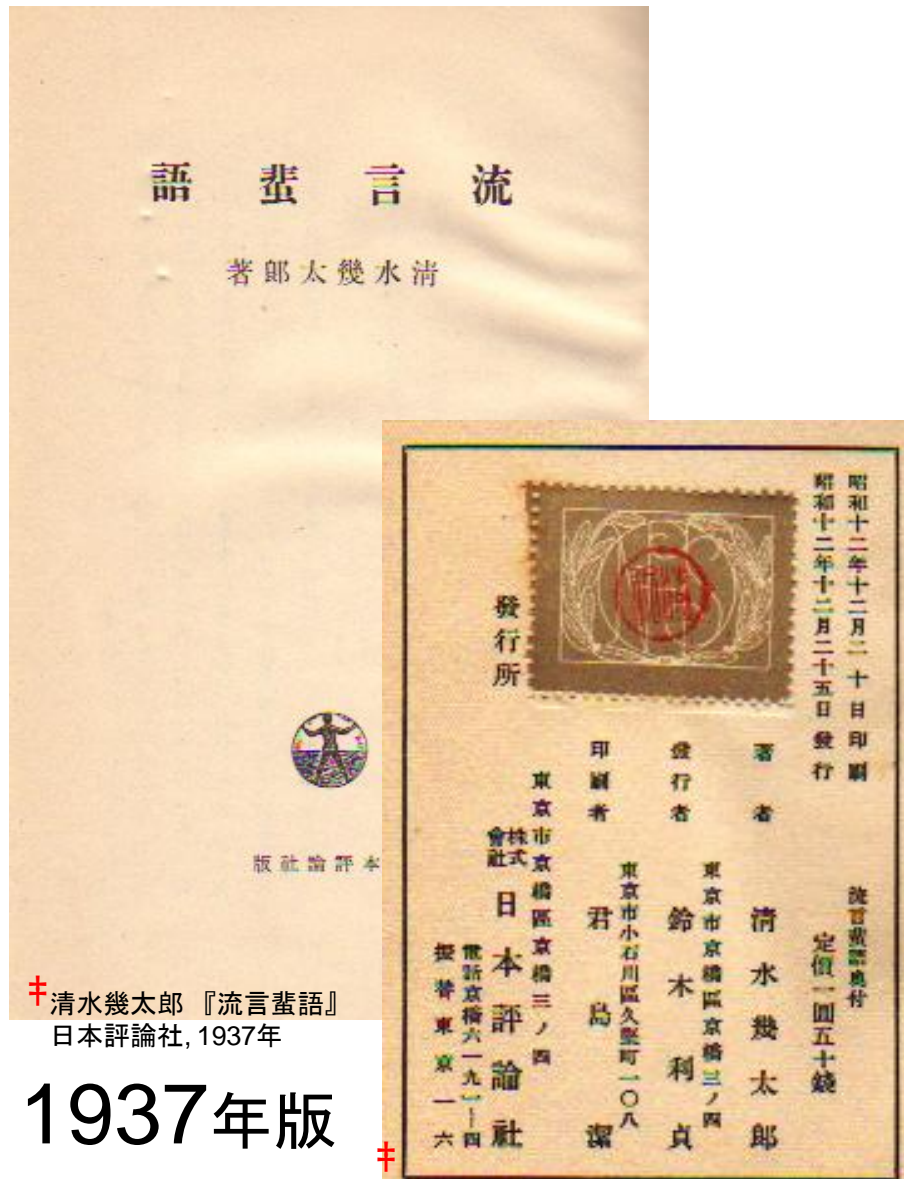
根拠のないのに言いふらされる無責任なうわさ。デマ。 〔広辞苑第五版〕



虚偽／間違い／無根拠／事実
でない／ニセの／謀略情報？



清水幾太郎：二つの『流言蜚語』



清水幾太郎『流言蜚語』
日本評論社，1937年

1937年版



清水幾太郎『流言蜚語』
岩波書店，1947年

1947年版



基本的なパースペクティブ

メディア論の視点

歴史社会学の視点

から既存の説明を批判する



資料から引き出せる6つの特徴

- ①この怪物は「クダン」という名をもつ
- ②文字では「件」と書く
- ③絵では人面で獣身の姿をしている
- ④豊作や流行病を予言する
- ⑤災いを遁れる方法についての情報
- ⑥証文の「如件」はこの怪物に由来する



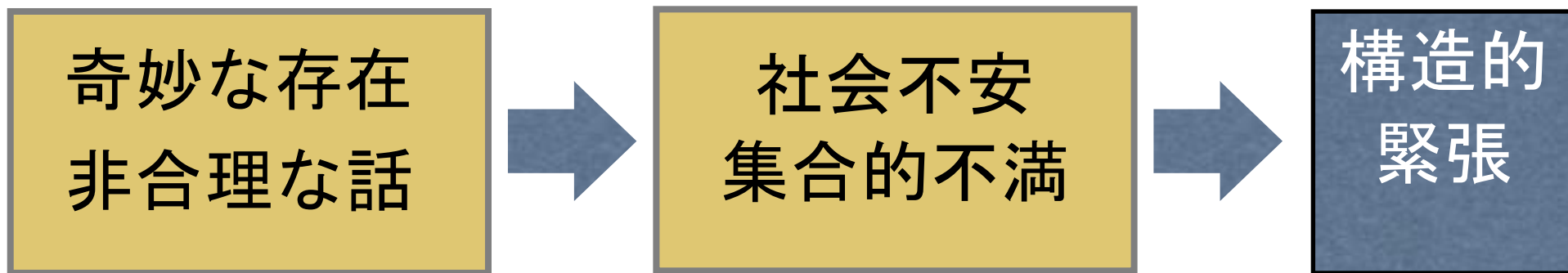
資料分析

資料形態	流言			民間伝承			新聞	かわら版			随筆		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
記述内容													
(1) 呼び名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△		
(2) 漢字の「件」	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
(3) 図像的特徴					△				○	○	○	○	○
(4) 予言する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(5) 対抗呪術	○		○	○					○	○	○	○	○
(6) 起源「如件」		○		○	○	○			○	○		△	



既存の説明その1

社会的・政治的不安 あるいは 集合的不満



ex. 口裂け女

学校の怪談

→ 都市社会の不安？

→ 管理教育への不満？

→ 大枠の説明として集合的不安はありうる、
しかし不満や不安は遍在している。



既存の説明その2

構造的な両義性 アンビバレンス



分類の混乱
秩序の攪乱



差別・逸脱
崇拝と排除
スティグマ

→ 人類学的な説明としての文化のダイナミズム
しかし「予言」とは結びついていない



既存の説明その3

信仰・伝統の衰弱あるいは「神」の零落

宗教・信仰
伝統的権威

神

ギリシア神話
中国古典
日本神話 etc.での表象

意味づけの弱体化

非合理性
奇異・奇妙

妖怪

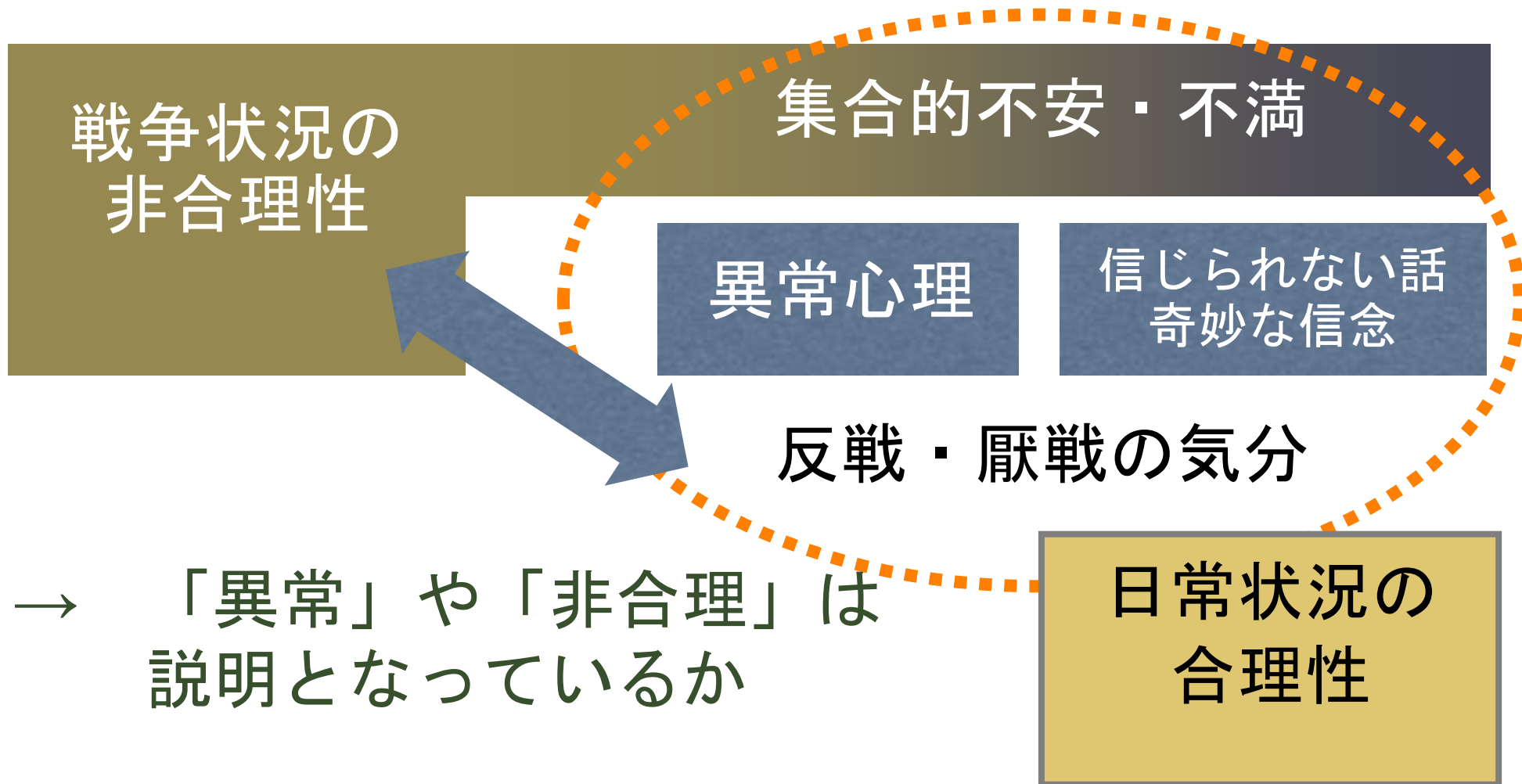
民俗・怪奇譚
都市伝説
信じられない話 etc.

→しかし、そうした信仰や伝統は見あたらない

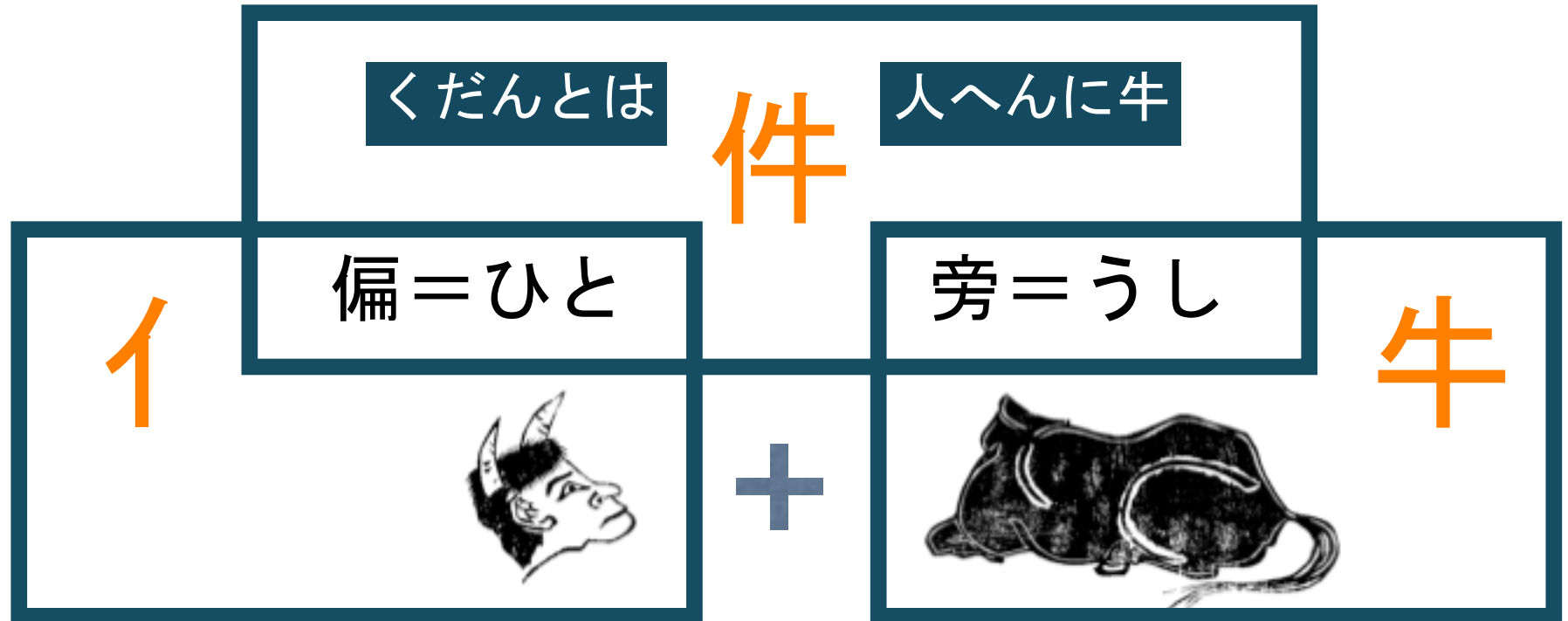


既存の説明その4

非合理性あるいは戦争という非日常



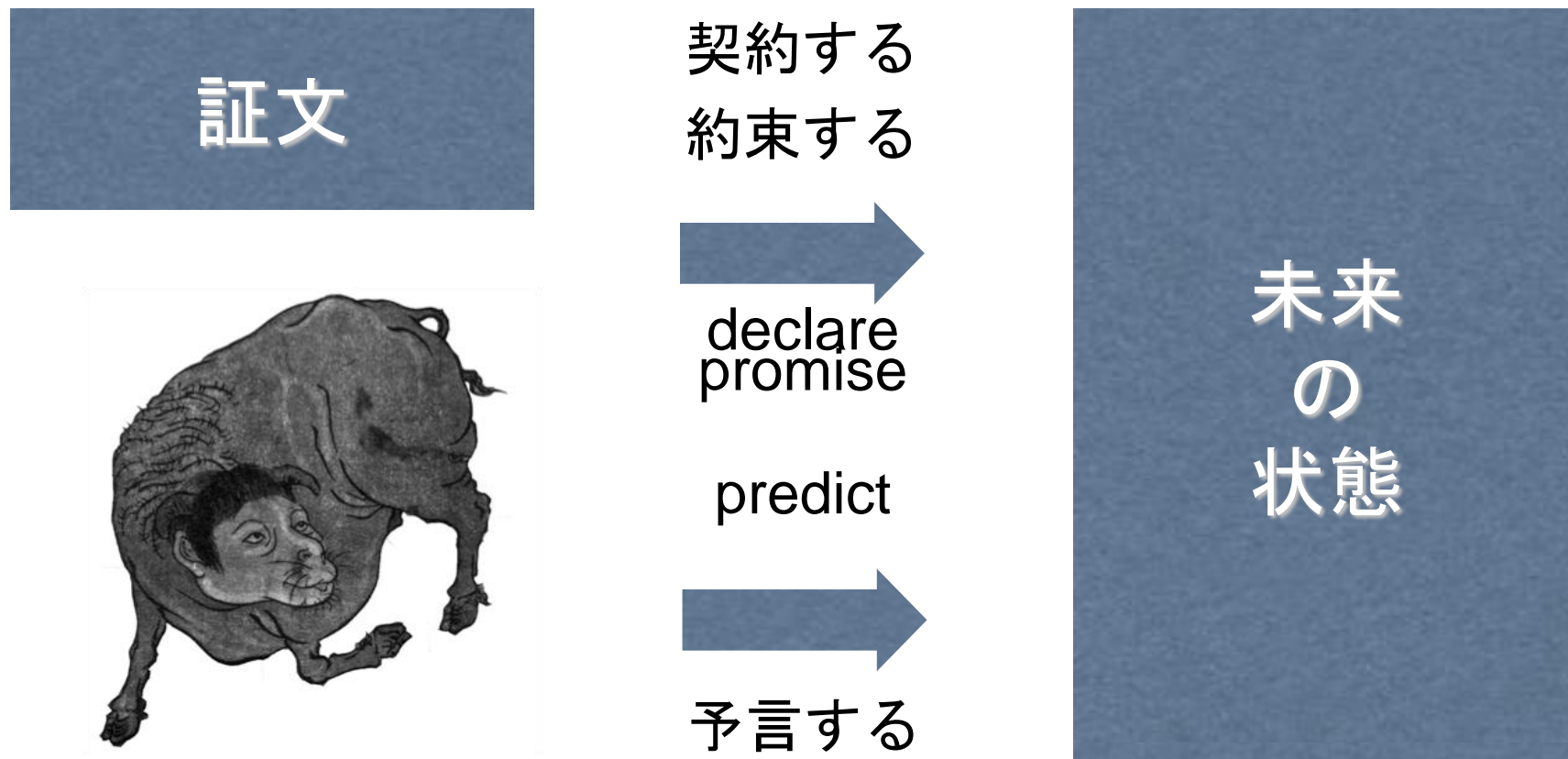
1) 書字の知識が重要な社会



は図像化された「文字」である

2) 「証文」が媒介する社会

クダンの予言力の根拠は 契約の経験・知識



3) 声としての知識・教養の位相

礼
如
件

このフレーズは慣用の
常識であった

証文の結びの文句だ
と誰もが知っている

クダン ノ ゴトシ
如件



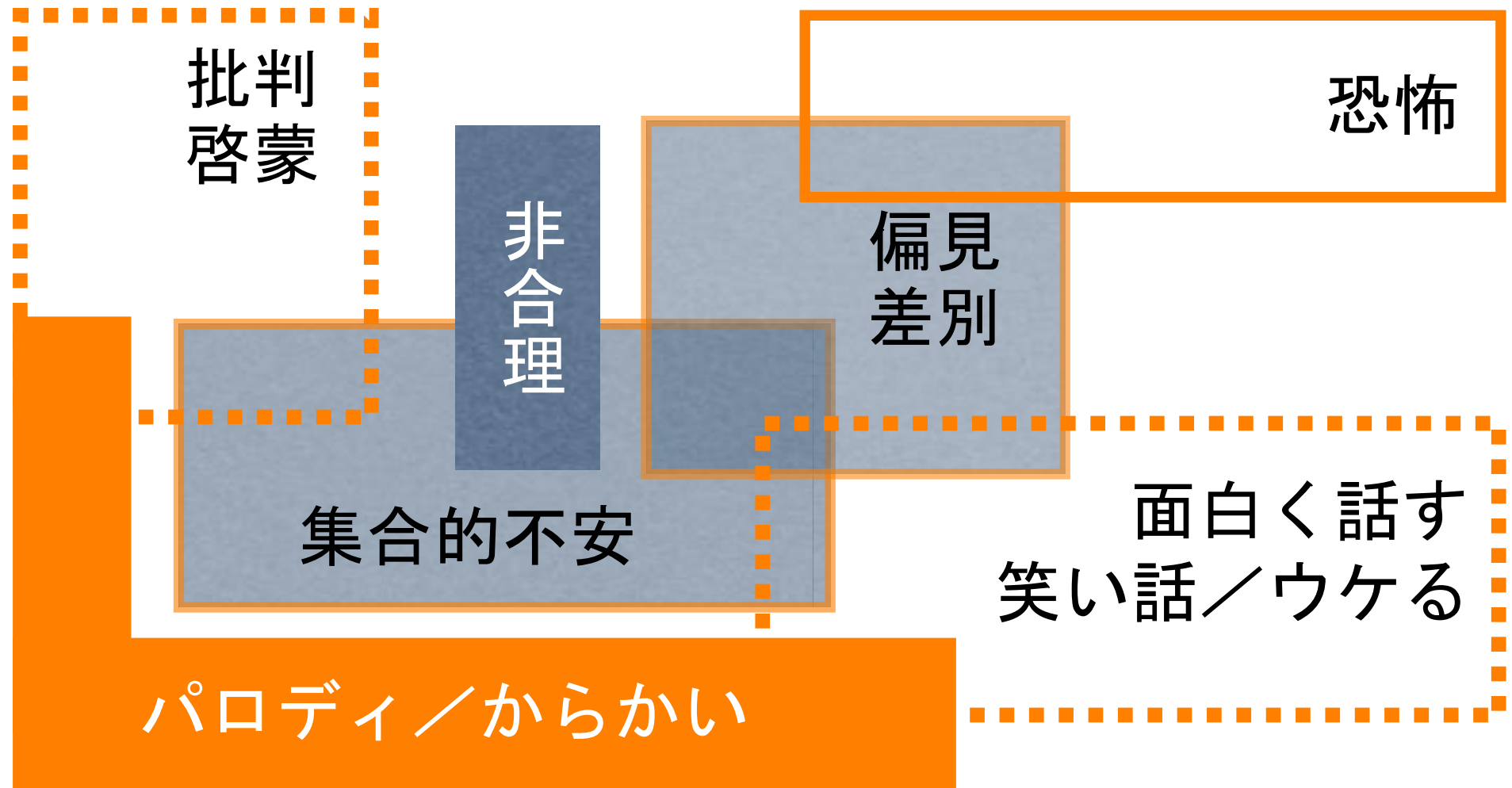
謎 = 空白

なぜそう書くのかの
意味は誰も知らない

日常のなかの余白
説明という物語
因果関係づけの余地



4) ゲーム：多様な動機の包含



流言は複数の動機を包含するゲームとしてある



パロディ (ひねり)



パロディ (ひねり)



健康

息災

家内まめべくそくさい延命うたがひなし

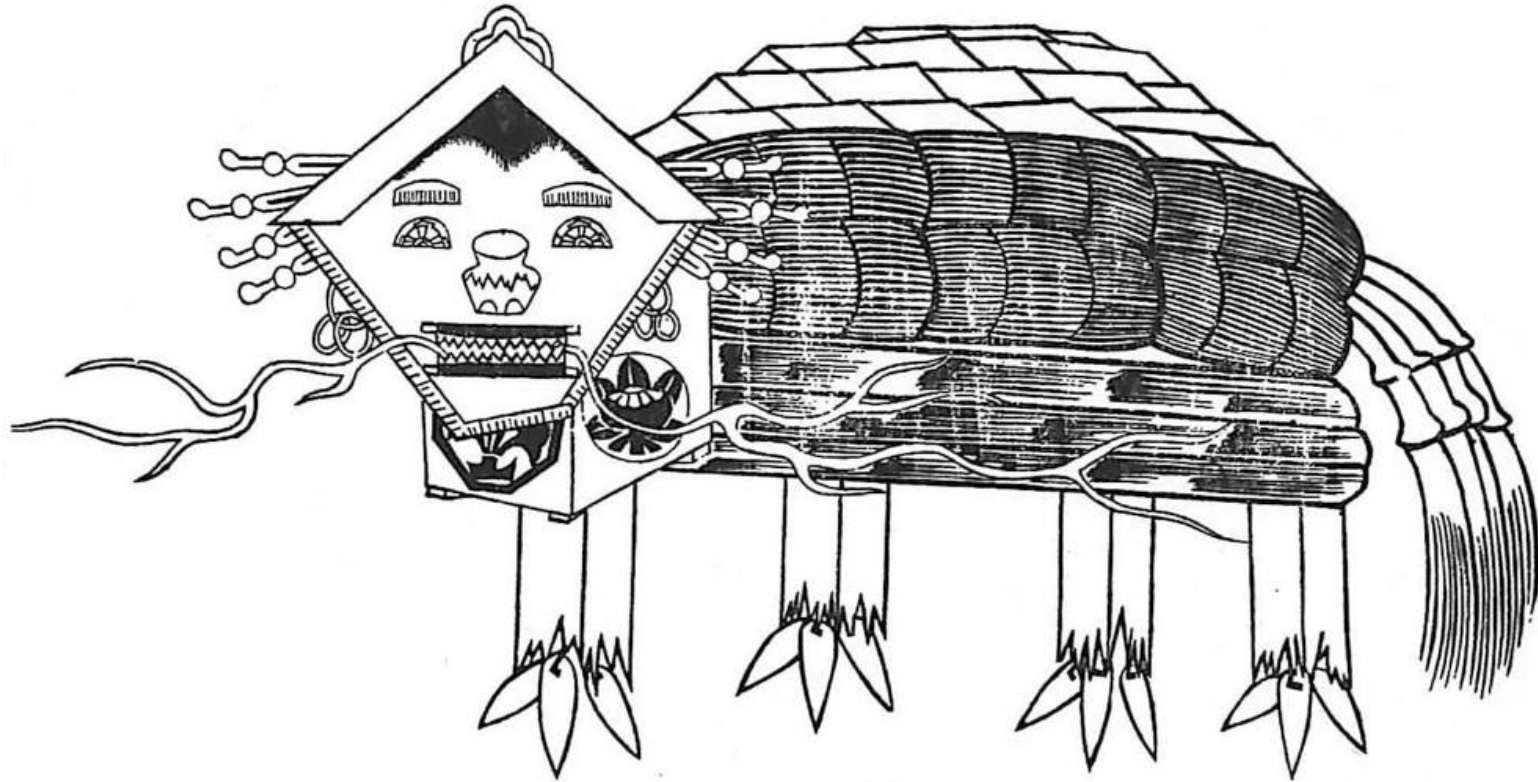
豆尻

糞

臭い



パロディ (難獣・難義鳥)



判じ物、なぜ、ことば遊び



これなんてかいてるかわかりますか？

≧ 冫 冫、ナよ ω τ カ ㄣレ、τ 冫カ ㄣわカ ㄣレ) Ma&カ ㄣ？



声＝発音から考えた場合

くだん
kudan

＝ 「くだり」「くだる」の音便

くだり
kudari

＝ 件・条・章
terms

くだる
kudaru

＝ 下る
going down
reading vertical lines



Ending Remark

